

# 萌 moeme 芽

Foster our possibilities



**地域連携**  
探究アドバイザー  
ぐんまを元気にする会



NPO 法人ぐんまを元気にする会様との協働が始まります。

## 「コロナ危機」を協働で乗り越えたい

### 総合的な探究の時間

教育活動に制限があるなかで、より一層先生方のアイデアやご意見が必要になってきました。各学年の取り組み情報を発信し連携を図るため、萌黄に芽ぶくプロジェクト委員会およびステップアップサポート委員会と連携して「萌芽」を創刊いたします。宜しくお申し上げます。

総合的な探究の時間（以下 探究の時間）では、課題を発見し解決していくための資質・能力を育みます。予測不能は未来で生きるためには、課題解決能力が不可欠です。さらに本校は「お互いの適性を生かし、Society5.0を快適に生きるため」に必要な5つの力を身につけていくことを教育目標としました。3年間をとおした探究の学びの過程で「自ら進んで行動する」「自己を知る」「他者を知る」「客観的に物事を見る」「共生する」という5つの力を総合的に育成できるよう情報共有の場としてこちらをご活用ください。

#### 令和2年度＜学習の概要＞

#### 1 年生

探究の基礎を『固める』

テーマ「現在を知る」  
グループ探究 3～4人  
PDCA サイクル演習  
ポスター発表

1・2学年合同発表会

#### 2 年生 ～12月

探究の範囲を『広げる』

テーマ「背景を知る」  
個人探究  
フィールドワーク  
論文作成

3年0学期スタート

#### 3 年生 2年生1月～

探究を重ね『深める』

テーマ「未来を考える」  
個人探究 プレゼン発表  
※R2は総合学習を実施  
(自己の生き方を考える)

三密を避ける  
対話的な学びの  
アイデア



学校再開後は当面の間、長時間のグループワークはできませんが、対話的な学びは設定したい、そこで・・・

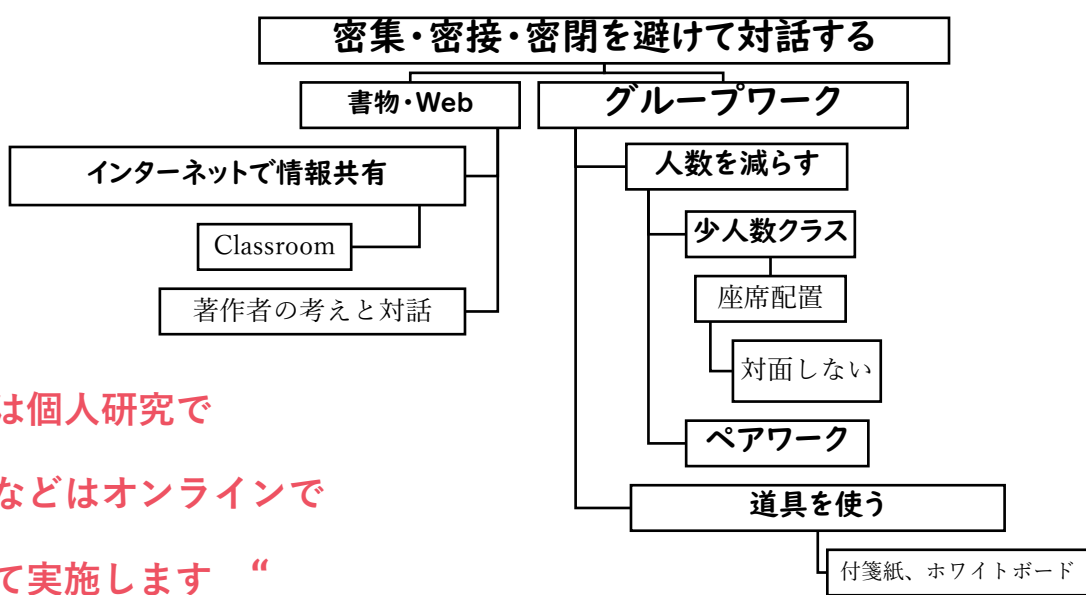
(裏面)

コロナ危機を経て、グループワークができない状況下で、  
「対話的に学びを深める」って、、、

探究で予定していたのは次のグループワークです。それぞれの流れについて解決策を考えているのですが、メリットデメリットがあり、、、これは職員の探究ですね（汗）最適解を一緒に探究してくださいませ。



学習の流れ	グループワーク	解決策	新たな課題
課題の発見 設定	ブレインストーミング KJ法	付箋紙を使う。思いついたことは付箋に書き1枚の紙にはりつけあう。	座席の組み方が田の字でないものにする。新たな意見も加えていくと時間がかかる。対話したくなる。
情報の収集	役割分担話し合い 報告会	Classroom を活用して報告や役割分担は Web で行う。	Meet の会議室をグループで作成する。
情報の整理 ・分析	KJ法 シンキングツリー	個人 or ペアワーク	多様な意見を聞くことができない。
まとめ・表現	ワールドカフェ	ペアワーク、少人数、classroom で動画提出、閲覧	振り返りが十分にできるか
講演会	講演会	オンライン	講演として効果があるか



“ 7月中は個人研究で  
講演会などはオンラインで  
工夫して実施します ”

RPGゲームのように過程を楽しめる探究にしたいのですが、どんなテーマのゲームがよいか、どんな装備をどの段階で身につけさせるといいかを一緒に考えたいです。以下、今後の予定です。

<オンライン講演の予定>

<1学年> 7/14 (火)「働くとは」 探究アドバイザー 講師2名

<2学年> 7/7 (火)「探究導入 学ぶとは」 株式会社マイナビ 講師1名